



# FUTURE CENTER NEWS

## フューチャーセンター通信 2014.02.28 vol.03

2014年3月19日発行号

ぎふフューチャーセンターは、地域が岐阜大学や岐阜大学生に期待すること、大学や学生が期待されていることを主題に、岐阜大学地域協学センターが中心となり、県内各地で開催されています。この取り組みは文部科学省「地(知)の拠点整備事業」に採択され、岐阜大学の地域貢献が期待されています。第3回は2月28日、高山市の高山市役所で開催しました。

Check!



# 岐阜大学と高山が手を取り合う場

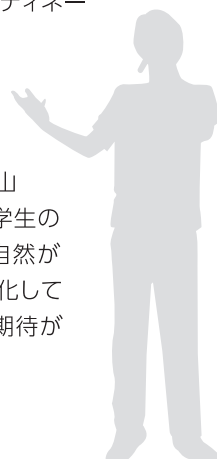
## 学生がまちづくりに参加する契機に

フューチャーセンターは、学生や大学関係者、社会人など、職業や所属などの枠にとらわれず、多様な人々が未来について語り合う「対話の場」。未来に向けたアイデアや解決策を出し合い、地域の課題を解決する糸口を見つけます。

今回は、大学生をはじめ、高山市の職員や市民など約40人が参加しました。はじめに、地域協学センター長の小見山理事から「地域と大学が手と手を取り合って初めて分かることがあります。話し合いを重ねて、お互いが気づき合う中から歩み寄り、大学が役に立てることを学ばせてほしい」とあいさつがありました。

今回のファシリテーターは、NPO法人森のなりわい研究所の所長で、地域協学センター地域コーディネーターの伊藤栄一さんが務めました。前回の郡上市と同様に、KJ法で意見交換しました。KJ法は、テーマに基づき、まず各自が意見を付箋に書き出し、模造紙に披露しながら、グループごとに図解化してまとめていきます。

今回のテーマは、「飛騨(高山)ってどんなところ=私の見た飛騨像」「こんな飛騨(高山)になってほしい=私の考える未来の飛騨」「大学に何を期待するか/大学に何ができるか」。参加者からは「高山には大学がないので、飛騨で学生の皆さんと交流できるフューチャーセンターを継続してほしい」「学生の皆さんに高山を知ってほしい」など期待する意見が多く挙がったほか、学生や教員からは「飛騨は自然が豊かで食べ物もおいしい」「サテライトキャンパスのように高山で学べる環境があると良い」「過疎化している地域に住み込んでゼミ活動を行う」など、高山で学生がまちづくりに参加できる機会の創出に期待が寄せられました。



<http://www.ccsc.gifu-u.ac.jp>

岐阜大学

CCSC

地域協学センター

Center for Collaborative Study with Community



# FUTURE CENTER NEWS

## フューチャーセンター通信

Center for Collaborative Study with Community

ぎふフューチャーセンター手順

## KJ法で議論を深める

【説明】

①フューチャーセンターについて ②グラウンドルール

【セッション】

KJ法……文化人類学者で東京工業大学名誉教授の川喜田二郎氏が考案した手法。



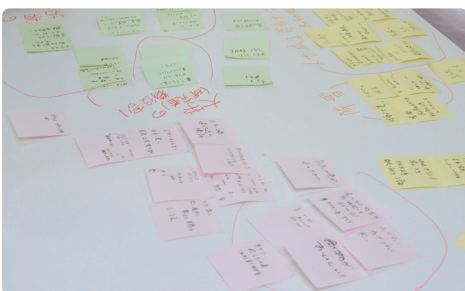
①アイスブレイク



②テーマに基づいて各自で意見を付箋に書き込む



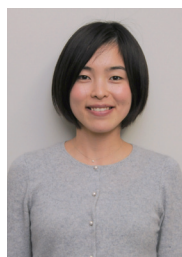
③模造紙に貼りながら、意見を披露する



④全員の意見をグループごとに分類し、表題をつける



⑤グループごとに発表(プレゼン)する

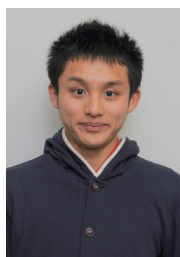


### 未来志向の意見交流でワクワク

岐阜大学 教育学部 特別支援学校教員養成課程3年

長瀬 慶子 さん

もっとこうしていきたいという未来志向の案が出て、ワクワクしました。高山では若者が減少していることに対して、例えば岐阜大学と高校生と一緒に話す機会を設けて高山の良さを高校生に感じてもらう場を作るなど、具体的な意見も出て収穫がありました。学生が関わることで期待が高まり、実際、実行に移すことが高山にとっては元気になると感じました。



### 現地に学生が行くことに意義

岐阜大学 工学部 社会基盤工学科3年

岩崎 誠 さん

社会人、先生、市の職員の皆さんなど、多様な価値観を持たれている方々とお話ができ視野が広がりました。高山にサテライトキャンパスを設置したらどうかという意見が多く挙がったのが印象的でした。第一歩として、学生が現地に行くことに意義があると思います。地元の方との意見交流を通して、連携をさらに深められる機会があるといいと思います。



### 可能性が広がるフューチャーセンター

グラノワ代表

糸井 奈緒美 さん

移住していただける方やIターンの方と地域活性化について考えていますが、学生の皆さんが高山に来て取り組む方法があることも提案されて、これから可能性はどんどん広がっていくのではという期待を持ちました。市民の皆さんにもこのような活動があることを知ってもらい、これからも継続して回を重ねていってほしい。



### 市民の皆さんにもぜひ参加してほしい

高山市 商工観光部 商工課

石原 崇善 さん

若い学生の皆さんやさまざまな業種の方と一つのテーマについて議論することが普段ないので貴重な体験ができました。高山には大学がないので、高校生は大学をイメージしにくいですが、まず岐阜大学の皆さんに高山に来て知ってもらい、好きになっていただき、高校生とも交流を深めてほしいと感じました。ぜひ市民の皆さんにも参加を呼び掛けていきたい。

CCSC  
Center for Collaborative Study with Community

地域協学センター  
TEL.058-293-3168  
<http://www.ccsc.gifu-u.ac.jp>

[FAX] 058-293-2022  
[E-Mail] ccsc@gifu-u.ac.jp



国立大学法人

岐阜大学



文部科学省

地(知)の拠点

文部科学省「地(知)の拠点整備事業」の支援のもと推進されています